

四輪吊り車用レールと調整四輪車の開発支援

【相手先企業】

株式会社 フロンテア

【目的】

厳しい経済状況の中、新製品の開発により売上の増加を図ろうという動きは中小企業においても少なくない。その際に必要となるのがデータの積み重ねであるが、専用の測定装置を有しないケースが多く見られる。

当センターでは各種測定装置を企業支援に活用する設備使用、依頼試験等の事業を行っている。以下に、これらの事業によって製品化された一例として「四輪吊り車用レールと調整四輪車」を紹介する。

【内容】

吊戸に用いる建築資材である「四輪吊り車用レールと調整四輪車」を重量扉に適用するため試作品の強度試験を行い、その結果をフィードバックさせ、評価・検討を繰り返し行った。具体的には、電子管式万能材料試験機を用いて破壊強度を測定し、十分な安全性を有する最適な設計を行うために必要なデータを得た。（試験の様子を図1に示す）

【成果】

破壊強度データの積み上げにより、最終的に重量扉に適用可能な「四輪吊り車用レールと調整四輪車」を開発し、販売に結び付けた。（製品を図2に示す）

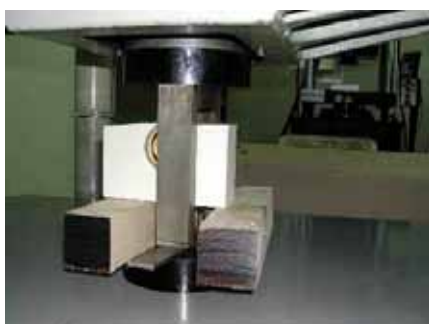


図1 破壊試験の様子

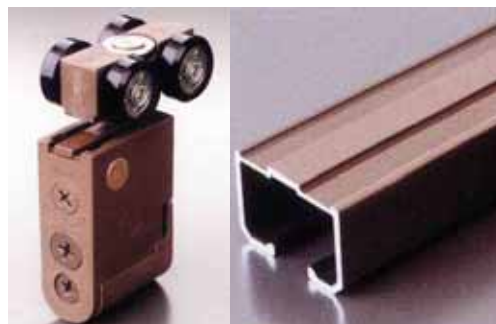


図2 四輪吊り車用レールと調整四輪車

基礎となった事業：技術支援及び依頼試験（平成14年度）

担当部署：材料応用部 小松崎 和久